

「平泉の文化遺産」 復元映像化事業(VR体験) (平泉町)

「平泉の文化遺産」復元VRは、無量光院跡をはじめとする町内7か所のポイントでVRスコープを使用して往時の平泉の風景を360°の映像で体感できるものです。

これにより、12世紀当時の建造物が少ない平泉においても、直観的に往時の風景を体感することができます。

ポイントではガイド音声入りの360°映像を見ることができ、平泉の歴史を学ぶことができるコンテンツとなっています。また、スコープが無い観光客向けに、個人のスマートフォンにて対応できるよう、ポイントにはQRコードを表示し、疑似的に体感することができます。

見どころマップのポイントをタッチ
するとスマホ版を体験できます。



縄文時代の原風景が広がる「御所野遺跡」ガイドアプリを活用し、 遺跡の魅力を発信します。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産

御所野遺跡は、もうすぐ世界遺産登録に。

世界遺産登録目前。国内外からの観光客増加が見込まれ、
これまで縄文遺跡に訪れることの少なかった若年層、ファミ

リー層、海外観光客など、来場者の多様性に対応した環境整備を進める。



御所野遺跡の大きな特長は、正確な調査、実験を基に建物を復元し、縄文時代の御所野ムラを再

現。景観配慮で公園内看板は設置しない方針で整備。公園内に分かりやすいガイド機能が必要。

地中に埋もれ、文字のない縄文時代。
遺跡情報をもっと分かりやすく伝えたい。

【ガイドアプリの特長】

1 国内外、子供から大人まで 縄文遺跡を楽しみ、学べる 御所野独自のアプリを作成

これまでの御所野遺跡の調査研究成果、豊かな景観など、遺跡の特性に合わせた魅力を分かりやすく伝える独自ガイドアプリを開発。アプリは6ヶ国語に対応。



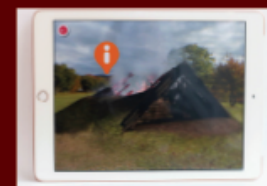
2 美しい景観、豊かな歴史 に先進表現技術を取り入れ、 新たな歴史体験を。

VRやAR、ドローン映像等、様々なデジタル技術を駆使し、博物館から公園、家庭でも楽しめるコンテンツ。御所野の「原風景」を舞台に新しい歴史体験を提供。



3 公園で燃える住居を再現。 ずっと不可能だった表現で リアルなガイドが可能に。

調査や実験資料を基に、当館館長や学芸員監修の下、発掘調査や土屋根住居の燃え落ちる様子など、高精細CGで忠実に再現。各エリアの特長をリアルにガイド。



縄文文化を、
世界のJOMONへ。



御所野遺跡

一戸町

山田町オンラインお試し移住体験ツアー事業



事業概要

目的：県外に在住者を対象として、山田町の魅力をオンラインで体験できる移住ツ

アーを実施。移住・定住を促進するとともに、関係人口の拡大を図る。

実施日：（全3回）＊各回とも10:00-12:00開催

第1回 1月30日（土）

第2回 2月11日（木・祝）

第3回 2月23日（火・祝）

運営体制・役割分担：

1）行政：山田町

2）ゲスト：町内先輩移住者

3）運営スタッフ：

岩手移住計画（当日司会進行）

いわて暮らしサポートセンター（当日運営補助、告知）

やまだワンダフル体験ビューロー（当日運営補助）

みちのリトラベル東北（企画設計、中継、顧客対応）

第1回 ～海の魅力編～ 2021年1月30日（土）10:00-12:00

ねらい： 町の最大の資源である海の豊かさを伝えるとともに、

その恵みがすぐ近くにあることの魅力を漁師と先輩移住者のお話から

引き出しながら、町への興味関心を高める。

メイン中継： 漁師・中村敏彦さんの番屋中継（**暴風のため養殖いかだからの中継は中止**）

サブ中継： 牡蠣食べ放題「何個食べれるかクイズ」@かき小屋

体験ギフト： 「かきほたてきちセット」…牡蠣ほたてセット

第2回 ～ひとの魅力編～ 2021年2月11日（木）10:00-12:00

ねらい： 第1回に続き、海の豊かさの要素を引き継ぎながら、加えて、個性的で

人を惹きつける魅力を持つ山田の“ひと”の魅力をクローズアップして取

り上げ、訪問への意欲を喚起させる。

メイン中継： 名物かあさんのイカさばき・ぬか漬けさんまクッキングショー

体験ギフト： 木村商店セット：イカ德利・ぬかさんま2本・イカー夜干し1枚

※発送は木村商店へ依頼

第3回 ～くらしの魅力編～ 2021年2月23日（火）10:00-12:00

ねらい： 最終回である当回で、暮らしのリアルを発信する。「食」と「住」をテーマ

に、実際の移住者の暮らしをモデルにしながら山田町での暮らしが具体的に

にイメージできる内容を設計する。

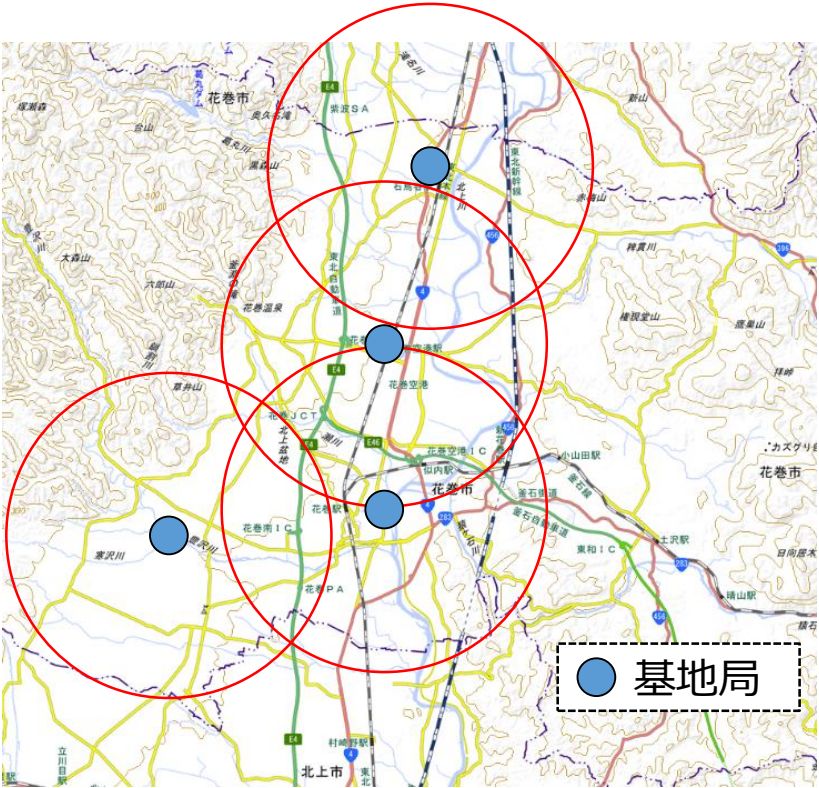
メイン中継： びはんレポート「こんなの置いてまっせ」（魚介／豚肉／ビールなど）

サブ中継： お試し住宅

体験ギフト： びはんのギフトセット

- 市内平坦部を中心に東北の自治体・J Aで初めてRTK-GPS地上基地局を設置し、誤差±2 c m程度の高精度位置測位情報環境を無償で提供。
- 各種実演会、体験試乗会の開催、国庫補助事業の活用、市単独補助事業のP Rの推進により、近年、スマート農業機器の導入件数が急激に伸びている。

GPS基地局の分布図



※ 13 経営体（総経営面積：976 ha）で市が設置したRTK-GPS地上基地局を利用している。

市単独補助事業

補助内容	補助対象者	補助率等
① GPSガイダンス ② 農業用自動操舵システム一式（内蔵型也可） ③ 農業用ドローン本体 ④ ロボット草刈機	① 認定農業者 ② 認定農業者等で組織する団体 ③ 集落営農組織 ④ 地域農業マスタープランの中心経営体（位置づけられることが確実な者を含む）	補助率：3/10 （上限：100万円）
農業用ドローンの教習費用		補助率：1/2 （上限：10万円）

【市内スマート農業機器の導入状況（国庫事業、市単独事業、自費導入）】

※令和2年度末現在

	自動操舵システム	GPSガイダンス	収量コンバイン	ドローン	ラジコンボート	ロボット草刈機	合計
導入件数	20件 (国9、市9、自費2)	1件 (市1)	4件 (国4)	27件 (国11市16)	1件 (国1)	4件 (市4)	57件
経営面積	1,258 ha	90 ha	449 ha	881 ha	214 ha	2 ha	2,894 ha

ドローンによる野生鳥獣被害の状況調査 (洋 野 町)

1 概 要

近年増加している野生鳥獣による農作物への被害防止のため、令和2年度にドローン1基を導入、調査に活用することで被害状況を把握し、鳥獣被害防止に取り組むもの。

被害状況調査（デントコーン畑：R 2.10月）



2 鳥獣被害の状況

年度	鳥獣の種類	被害作物	件数
R 2	ツキノワグマ、ニホンジカ、イノシシ、カモ、キツネ等	トウモロコシ、サイロ、デントコーン、水稻、ジャガイモ、行者ニンニク、ズッキーニ等	47
R 1	ツキノワグマ、ニホンジカ、イノシシ、ウサギ等	ロールサイレージ、デントコーン、原木椎茸、水稻、水田（畦畔の掘り起こし）、柿、栗の苗木、ジャガイモ、ブロッコリー等	32
H30	ツキノワグマ、ニホンジカ、イノシシ、ハクビシン等	デントコーン、果樹、養蜂、原木椎茸、水稻等	11

ドローンの活用について

西和賀町

◆導入の経緯

自然災害等において、災害規模や現場の状況を安全かつ的確に把握するため及びイベントの記録など、町PRにも活用が見込めることから、ドローン2機を導入することにした。

◆活用にあたって

町では、ドローンの活用にあたり、操縦技能の向上や各種の申請に関する知識を習得するため、職員5名がベーシック・パイロットクラス（初級者講習）を受講した。

◆今後の活用

【災害対応分野】

- ・災害状況の確認（土砂災害、水害、山火事など）
- ・罹災証明
- ・行方不明者搜索

【道路管理分野】

- ・危険箇所の点検

【イベント分野】

- ・記録写真の撮影

【農林分野】

- ・有害鳥獣調査
- ・農地確認



岩泉町「ブルードラゴン隊」(ドローン運用隊)について

B - 7

「ブルードラゴン隊」発足の経緯

- ・平成28年台風第10号豪雨災害や、近年のクマ・シカ等による農林業への被害の増加から、災害発生時の情報収集や鳥獣被害防止対策等が急務であると考え、岩泉町防災活動等偵察マルチコプター運用隊（通称：ブルードラゴン隊）を平成30年11月に発足。
- ・令和3（2021）年4月現在、ドローン2台を保有。
- ・ブルードラゴン隊の隊員数は10人。

「ブルードラゴン隊」の運用

- ・農地の現況確認、大規模林野火災の現地確認、事業予定地の確認や広報取材等を想定して職員を操縦者として選抜。
- ・現場を上空から撮影、リアルタイム映像の伝送が可能なことから、災害時の状況確認や行方不明者の捜索に活用している。
- ・そのほか、平時には有害鳥獣の生息域調査や食害調査、ナラ枯れ被害の状況確認、観光映像の撮影、埋蔵文化財調査にも活用している。



地震津波訓練での被害状況調査訓練



林野火災での活用(現地状況確認)